

# 決算説明会資料

## 2021年9月期 第2四半期

---

アクセルマーク株式会社（東証マザーズ:3624）

2021年5月13日



## 目次

- 1 2021年9月期 2Q業績概要**
- 2 債務超過解消の見通し
- 3 各事業の状況と成長戦略
- 4 2021年9月期 業績予想

## 1 1-1. 2021年9月期 2Qサマリー

売上高

**631** 百万円  
(前四半期：632百万円)

営業利益

**5** 百万円  
(前四半期：▲24百万円)

### □ 事業概況

- ・当四半期にて、四半期での営業黒字化を達成
- ・2021年9月期 上期業績にて、当期純利益で黒字化を達成
- ・広告事業の「ECMARK」が堅調に推移

### □ 全社概況

- ・2021年3月1日付で代表取締役の異動(社長交代)
- ・第三者割当により第2回CB※1および第23回WT※2の発行を決議  
(2021年4月28日払込完了)

※1 第2回無担保転換社債型新株予約権付社債

※2 第23回新株予約権

## 1 1-2. 損益計算書四半期推移

1 Qで事業構造転換施策の全てを完遂したことで、2Qにて四半期での営業黒字化  
営業外収益の計上により、上期最終利益8百万円の黒字

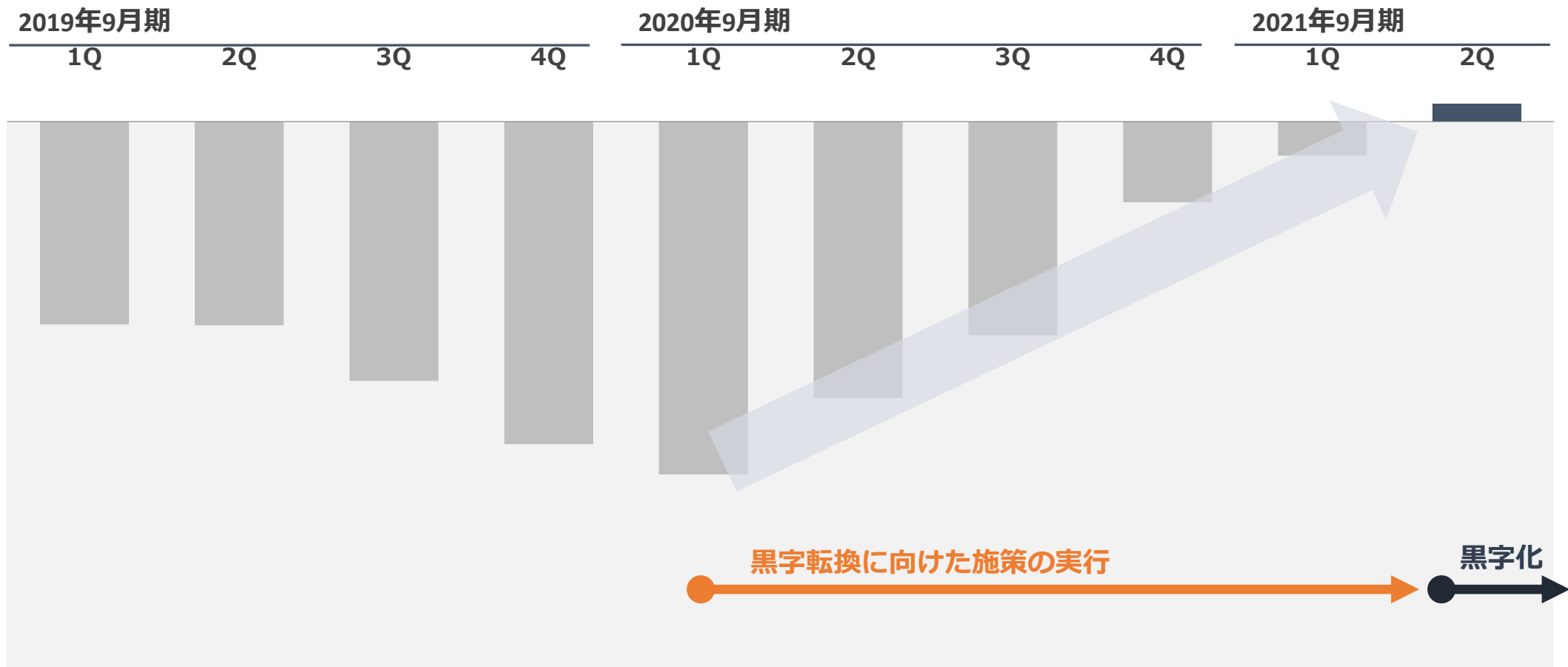
単位：百万円

	前期※		当期	当期	QonQ 差異
	3Q	4Q	1Q	2Q	
<b>売上高</b>	706	643	632	<b>631</b>	▲1
売上原価	723	613	552	555	+3
<b>売上総利益</b>	<b>▲16</b>	29	79	<b>75</b>	<b>▲4</b>
販売管理費	134	86	103	70	▲33
(うち広告宣伝費)	(0)	(0)	(0)	(0)	+0
<b>営業利益</b>	<b>▲151</b>	<b>▲57</b>	<b>▲24</b>	<b>5</b>	+29
営業外収益	21	9	11	26	+15
営業外費用	2	3	0	9	+9
<b>経常利益</b>	<b>▲132</b>	<b>▲50</b>	<b>▲13</b>	<b>21</b>	+34
特別利益	-	22	-	-	-
特別損失	12	14	-	-	-
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>▲144</b>	<b>▲42</b>	<b>▲13</b>	<b>21</b>	+34
法人税等	0	0	0	▲0	▲0
<b>当期純利益</b>	<b>▲145</b>	<b>▲43</b>	<b>▲13</b>	<b>21</b>	+34

※2021年9月期第1半期決算より非連結決算に移行したため、前期実績は連結実績を記載しております

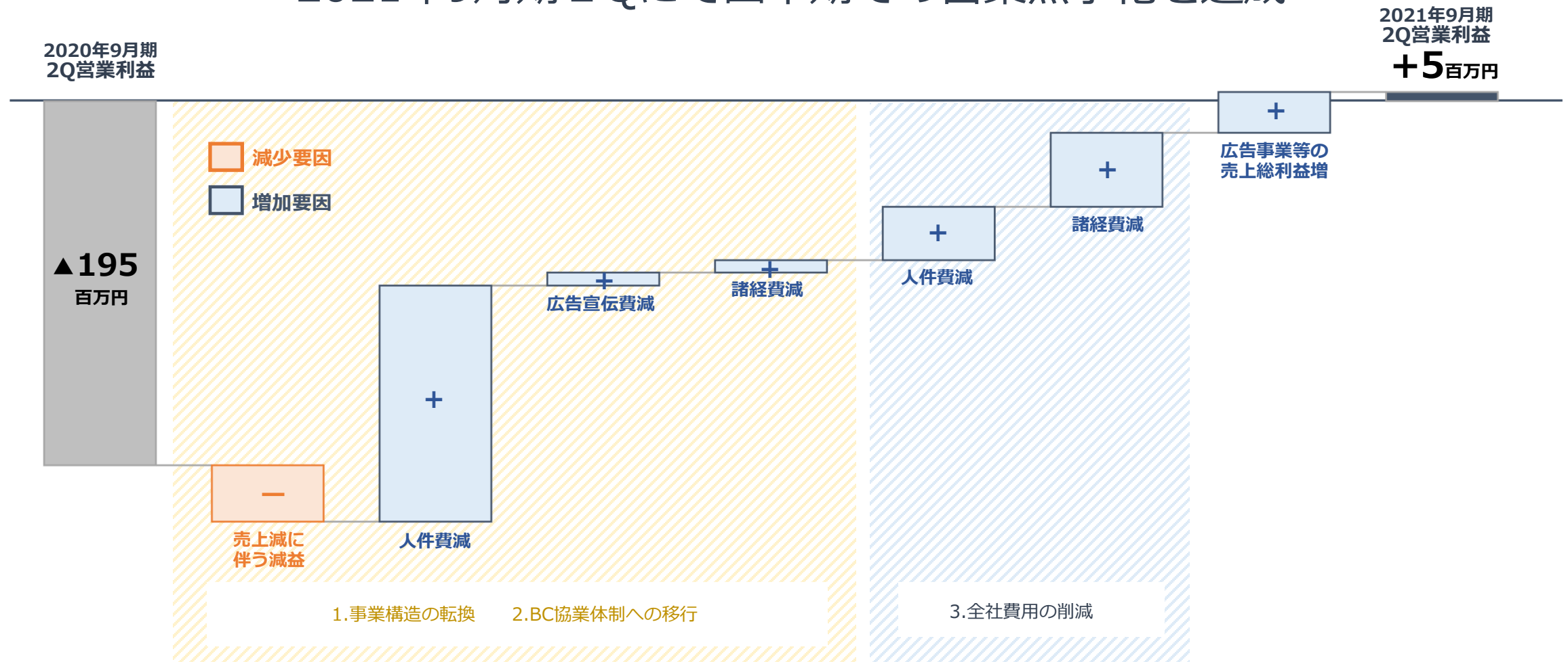
# 1 1-3. 営業利益四半期推移

当四半期にて、四半期での営業黒字化を達成



# 1 1-4. 黒字化に向けた施策の成果

各種施策により、人件費や諸経費を大幅に削減、  
2021年9月期 2Qにて四半期での営業黒字化を達成



# 1 1-5. 貸借対照表概要

2 Q以降の安定的な黒字化により、純資産の回復を図るほか、  
第三者割当により第2回CBおよび第23回WTの発行を決議

単位：百万円

	2020年 9月期 4Q末	2021年 9月期 2Q末
<b>流動資産</b>	680	<b>615</b>
現金及び預金	400	312
売掛金	227	257
その他	51	45
<b>固定資産</b>	134	<b>83</b>
有形固定資産	20	18
無形固定資産	3	2
投資その他の資産	110	62
<b>資産合計</b>	815	<b>699</b>

	2020年 9月期 4Q末	2021年 9月期 2Q末
<b>流動負債</b>	412	<b>287</b>
買掛金	175	218
借入金	150	-
その他	87	68
<b>固定負債</b>	575	<b>575</b>
転換社債型新株予約権付社債	575	575
<b>負債合計</b>	987	<b>862</b>
資本金等	3,368	100
利益剰余金	▲3,538	▲261
新株予約権	4	4
その他	▲8	▲6
<b>純資産等合計</b>	▲172	<b>▲163</b>
<b>負債・純資産等合計</b>	815	<b>699</b>

## 目次

- 1 2021年9月期 2Q業績概要
- 2 債務超過解消の見通し**
- 3 各事業の状況と成長戦略
- 4 2021年9月期 業績予想



## 2 2-1.債務超過解消の見通し（純資産額の状況）

### 2021年9月期において債務超過解消見込み

2021年4月30日時点の純資産額の概算	純資産額の状況
1) 2021年9月期 2 Q末時点の純資産額	▲163 百万円
2) 第2回CBの転換※1	267 百万円
3) 2021年4月度純資産変動額（速報値）	54 百万円
<b>合計</b>	<b>159 百万円</b>

#### □ 債務超過解消に向けた取り組み

- ・ 2021年4月28日付で、第2回CB および第23回WT※2 の発行により、559百万円を資金調達
- ・ 2021年4月30日付で、第2回CB 12個(267百万円)の転換により、資本金および資本準備金増加  
残数【第2回CB(37個、824百万円分)、第23回WT( 50,340個、1,500百万円分)】
- ・ 2021年9月期業績予想として、営業利益10百万円を見込む

※1 第2回無担保転換社債型新株予約権付社債

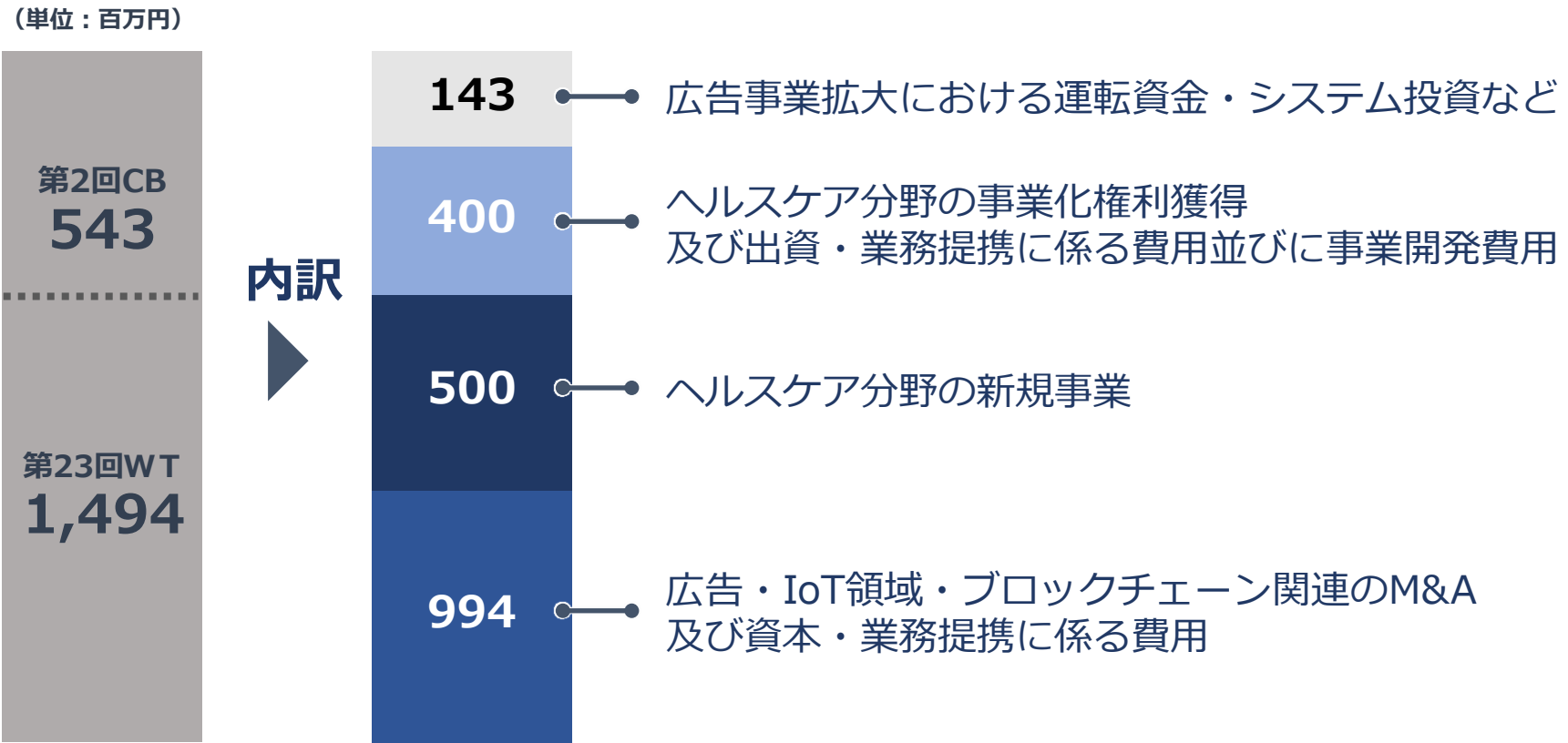
※2 第23回新株予約権

## 目次

- 1 2021年9月期 2Q業績概要
- 2 債務超過解消の見通し
- 3 各事業の状況と成長戦略**
- 4 2021年9月期 業績予想

### 3 3-1. 成長戦略 調達した資金の用途について

第2回CBおよび第23回WTの発行により資金調達、  
これらの資金を今後の成長事業へ



※記載している金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております

### 3 3-2. 成長戦略 ヘルスケア事業（事業概況）



アクセリード社との協業のもとに、国内外ベンチャー企業の分子診断分野の新規技術を評価し、その中で日本市場での成長が見込まれる有望な技術・製品の国内事業化権を確保した上で、適切な事業パートナーを開拓し、バリューチェーンを構築する事業開発型のビジネスモデルでの事業を立上げ。現在、アクセリード社と共に、Ascella Biosystems Inc.との取組みを推進。

### 3 3-3. 成長戦略 ヘルスケア事業（具体的な取り組み）

## 米・医療機器会社Ascella Biosystems, Inc.への出資および業務提携を発表



医療機器スタートアップ企業（本社：米国カリフォルニア州）  
開発中の「**Ascella Real Time System**」は、  
分子診断技術を用いた新型コロナウイルス迅速診断法であり、  
現在主流となっているPCRやLAMP等の手法と比べ、  
速さとコストにおいて優位である可能性がある。



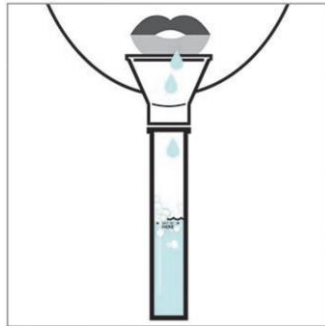
### 「Ascella Real Time System」の日本国内の事業化権を獲得

（使用、輸入、製造、販売、及び販売委託に関するサブライセンス付きの独占権を付与する契約を締結）

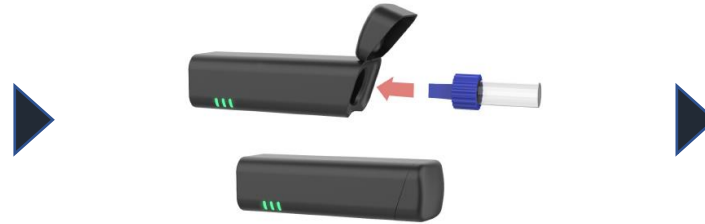
### 3 3-4. 成長戦略 ヘルスケア事業 (Ascella Real Time System)



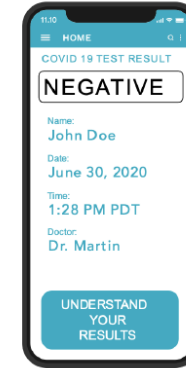
○ **Ascella Real Time System** . . . RAIL System※と言われる分子診断技術を用いた新型コロナウイルス迅速診断法



被験者の唾液を採取



ハンドヘルド機器で判定

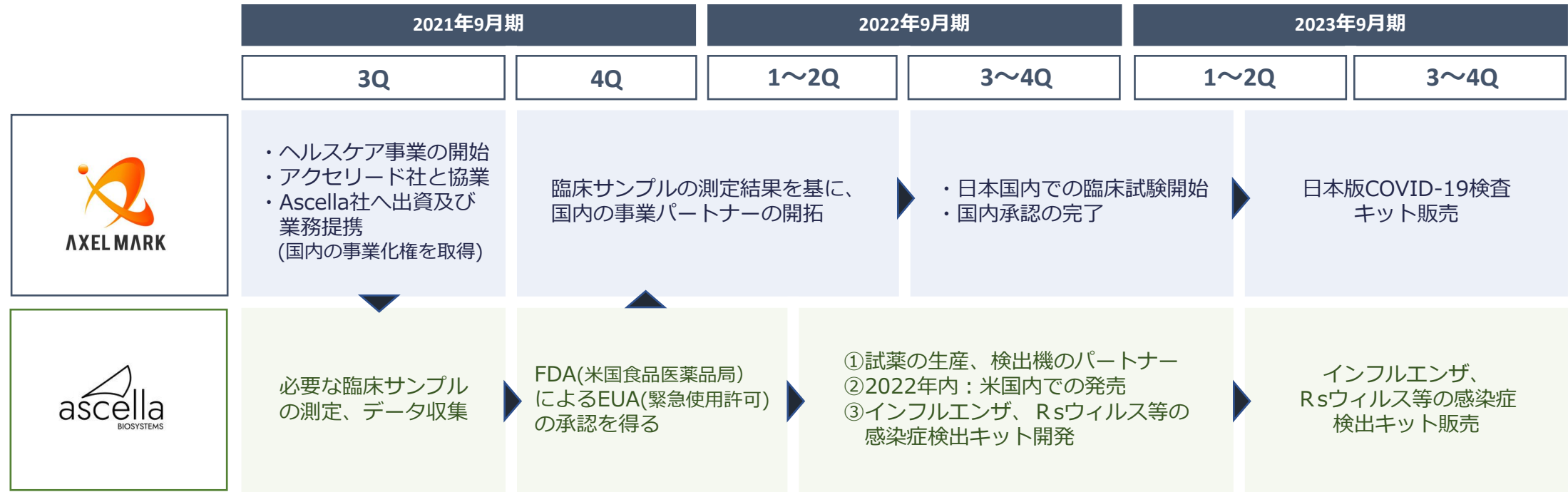


スマホアプリより  
約3分で結果通知

被験者の唾液を採取し、3分以内に一定温度で反応を検出することが可能。従来のPCR検査で必要な蛍光検出及び温度制御のためのPCR装置が不要となる。検査結果はスマートフォンアプリでも確認することができ、専門的な医療機関以外の場所でも活用されることが期待される。

※RAIL System . . . DNA伸長反応において、反応の際に副産物としてリアルタイムで発生する発光を検出することにより、核酸を検出する新しい方法

### 3 3-5. 成長戦略 ヘルスケア事業（今後のロードマップ）



#### Ascella Real Time Systemは、

COVID-19及び変異株を含む、インフルエンザ等の様々な感染症に対しても対応可能であり、COVID-19の収束後も需要を見込む。

従来の検査と比べ簡易的に検査ができ、短時間で結果を確認することができるため、将来的に様々なシーンでの需要を見込む。(例:イベント会場等において非医療機関での簡易検査など)

### 3 3-6. 成長戦略 IoT事業



## ヘルスケア × IoT市場の新規事業開発

当社がこれまで培った、IoT分野の技術およびスマホアプリ開発の技術を活かし、「WITHコロナ」時代の社会環境下における社会的貢献を果たしていくため、親和性の高いヘルスケア領域にて、サービス展開を行っていく。

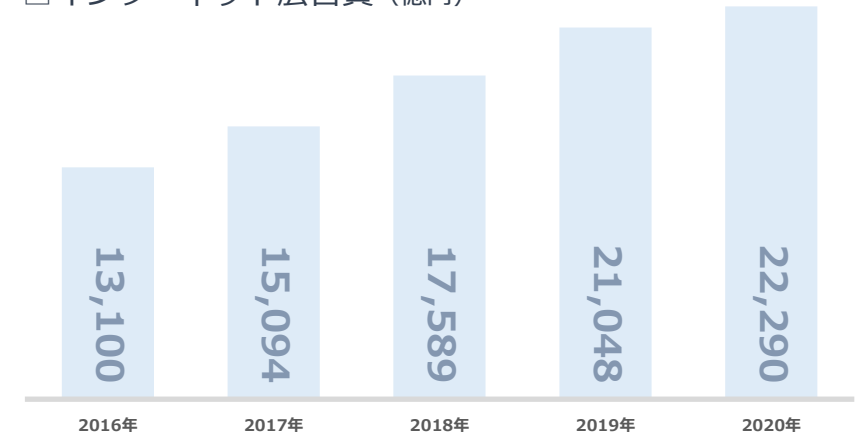


## ■ 市場状況

インターネット広告市場はコロナ禍の影響を受けつつも、外出・移動の自粛により、**巣ごもり需要が活発化**。社会におけるデジタルトランスフォーメーションが一気に加速したこともあり、

2020年は前年比105.9%となる**2兆2,290億円**と順調に**拡大**

□インターネット広告費（億円）



※電通「日本の広告費」より当社グラフ作成

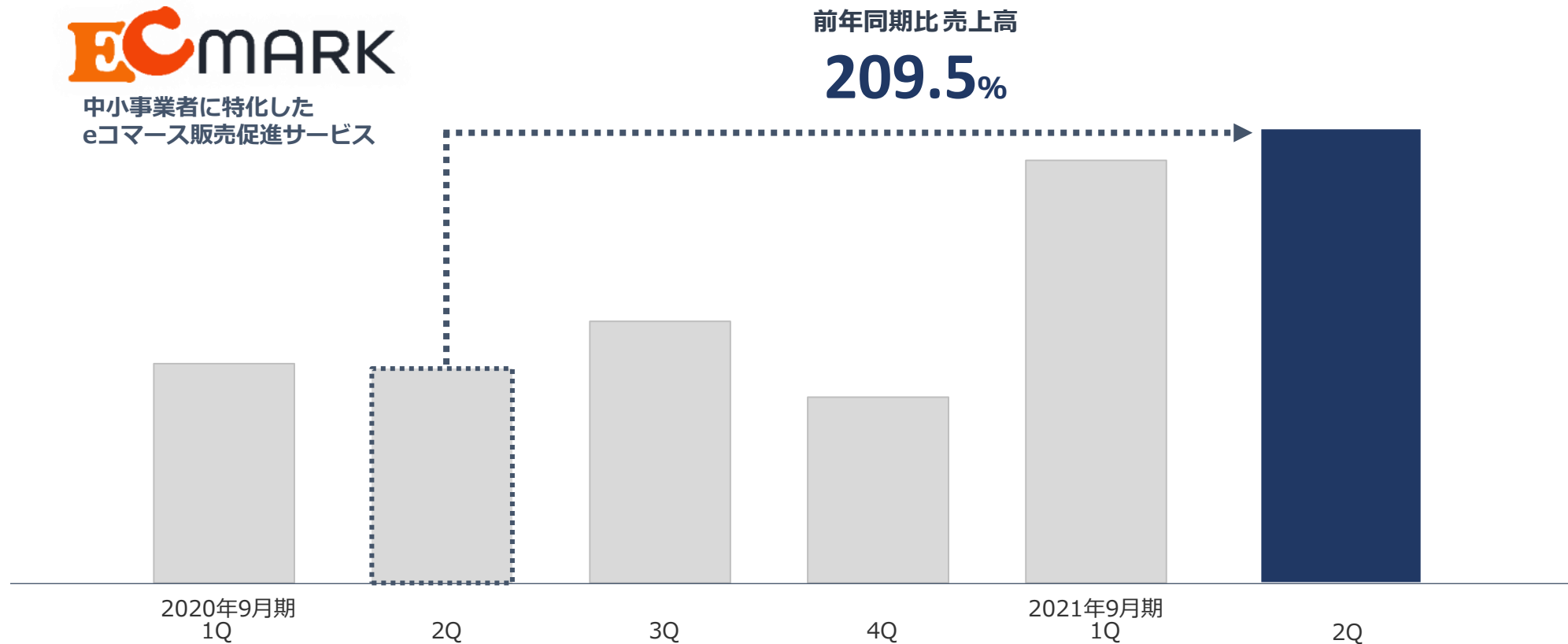
## 当社 取組

ネット広告単体でのサービス提供のみならず、引き続き市場のニーズにあった事業展開を可能とするため、体制強化およびシステム開発等に投資予定。

また、2006年より十数年に及ぶシステム開発の実績とノウハウを、今後、広告事業参入を検討している複数の企業との協業に活かし、**M&A・出資も含めたアライアンス展開**を検討中。

### 3 3-8. 成長戦略 広告事業

「ECMARK」は、2021年9月期1Qから引き続きECに本格参入する企業の増加による案件数の増加や、コロナ禍で広告費を抑制していたメーカーなどの広告費が回復傾向にあり、堅調に推移



### 3 3-9. 成長戦略 ブロックチェーン関連事業

2021年に入り、世界的に**NFT (Non-Fungible Token)**※の活用が進み、注目度も向上。当社は**NFT**領域での事業展開の先駆者として、様々なIPホルダーとのアライアンス、**NFT**流通のためのプラットフォームの創出を計画中。



※NFT：固有の希少性や独自性を有するトークンのこと

### 3 3-10. 成長戦略 ブロックチェーン関連事業

OneSports社(オルトプラス子会社)と協業のもと、  
ブロックチェーンゲーム「Crypto Sports(仮称)」の企画開発を共同で推進中



プロスポーツリーグをIP※としたブロックチェーンゲームを共同開発  
LINE Blockchain上でのサービス提供を予定。

※IP：Intellectual Property(知的財産)の略称

# 全社

2021年9月期 2 Qにて四半期での黒字化を達成。  
3 Q以降の安定的な黒字を達成し、通期での黒字転換を目指す

## 既存事業

- 広告事業      さらなる事業拡大
- BC関連事業    ブロックチェーン/NFTを活用したプロジェクトへの出資等、他社とのアライアンス展開
- IoT事業        ノウハウを活かし、ヘルスケア分野へ参入

## 新規事業

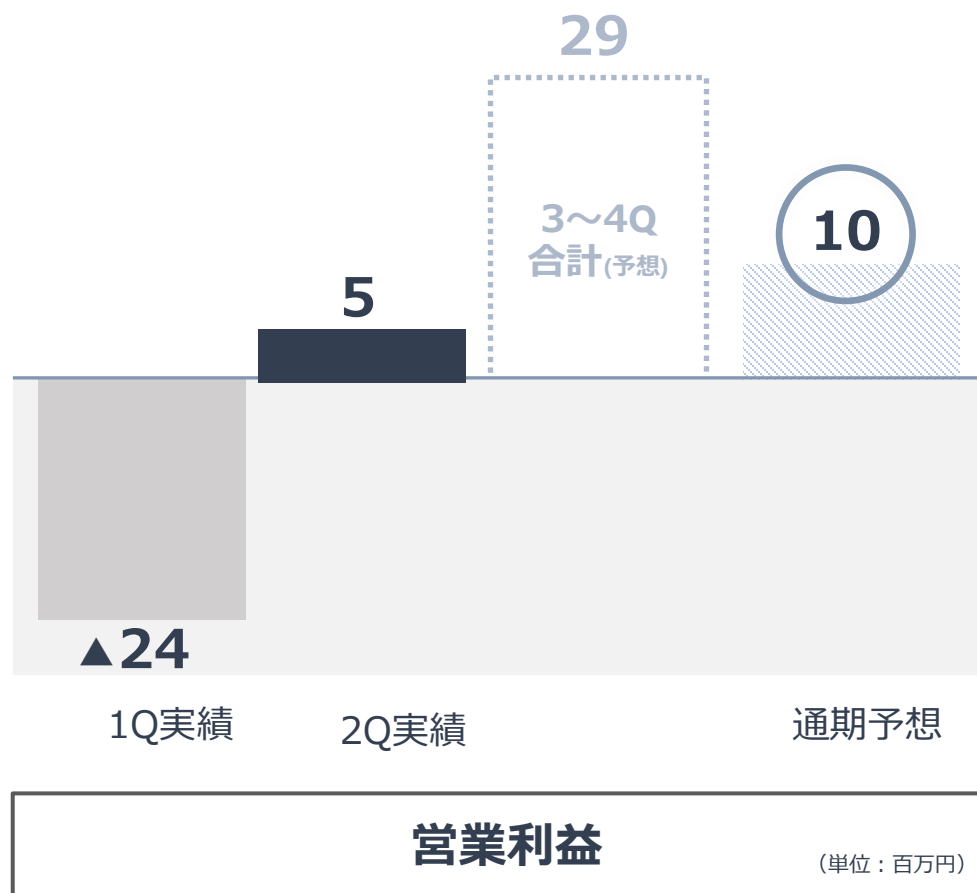
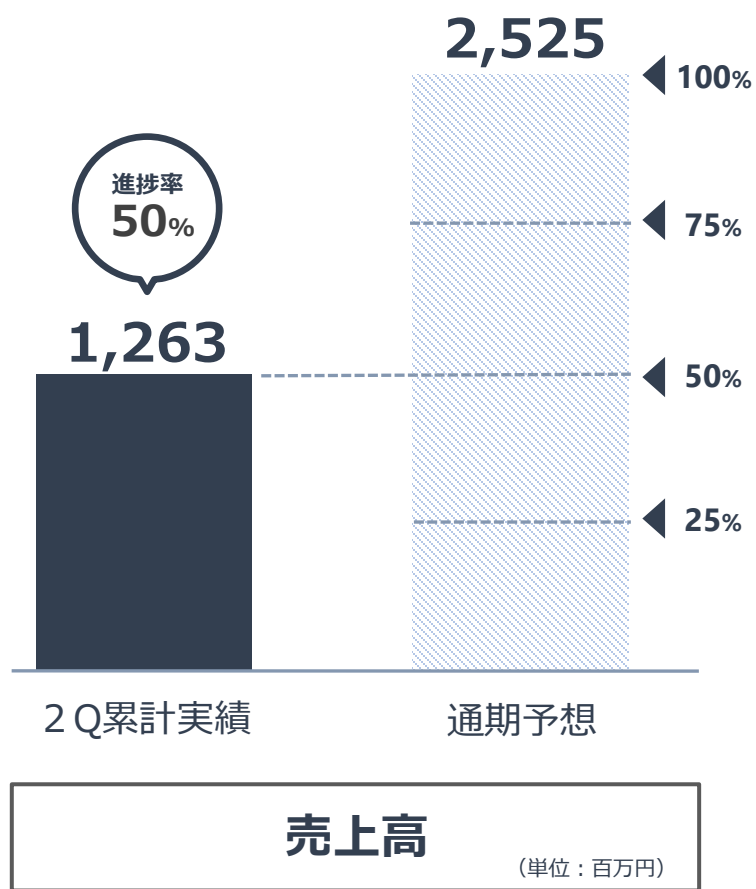
- ヘルスケア事業
  1. アクセリードとの協業をもとにヘルスケア分野での事業を立上げ
  2. ヘルスケア × IoT市場の新規事業開発を目指す

## 目次

- 1 2021年9月期 2Q業績概要
- 2 債務超過解消の見通し
- 3 各事業の状況と成長戦略
- 4 2021年9月期 業績予想**

## 4 4-1. 2021年9月期 業績予想の進捗状況

当四半期にて四半期での黒字転換を達成、業績予想に対して順調に進捗



「楽しい」で世界をつなぐ



当資料はアクセルマーク株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。

当資料は当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが、当社がその正確性を保証するものではなく、

事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。

最新情報やお問い合わせは下記のコーポレートページよりお願いいたします。

<https://www.axelmark.co.jp/ir/>